

おめでとう！ 日本一！！

第54回全国青年大会で「演劇集団つばめ」最優秀賞受賞！

第54回全国青年大会が、11月11日から14日までの4日間、東京で開催され、滋賀県選手団として参加された高島市の選手・チームの結果をお知らせします。



- 文化の部
    - 「演劇集団つばめ」最優秀賞・優秀創作戯曲賞・舞台美術奨励賞
  - 体育の部
    - 陸上 砲丸投げ 上藤仁司さん 第3位
    - 卓球 団体戦 「高島クラブ」 第4位
- 高島市となって、初めて市内の青年の皆さんが協力して、素晴らしい成果を上げられました。おめでとうございます。

(青少年室)

今津中学校校友会

「青少年知事表彰」を受賞！

11月19日に米原市公民館で開催された、滋賀県青少年育成大会において、今津中学校校友会が青少年等知事表彰を受賞されました。全校生徒が参加するボランティアグループの活動やネパール等への長年にわたる支援プロジェクトが評価されたものです。

この他、長年にわたる青少年の健全育成に対し、滋賀県青少年育成県民会議より、高島市今津町の岩淵 清さんに感謝状が、また、



同じく今津町の西川昭次郎さんに青少年育成県民会議会長表彰の伝達がありました。今回の受賞を励みに、皆様の今後ますますのご活躍を期待いたします。

(青少年室)

滋賀県代表として

「ねんりんピックふくおか2005」に出場されました。

11月12日(土)から15日(火)にかけて福岡県で開催されました、高齢者を中心とするスポーツ、文化、健康と福祉の総合的な祭典 第18回全国健康福祉祭福岡大会「ねんりんピックふくおか2005」に、滋賀県代表として高島市から弓道、卓球、ラグビーフットボール、剣道、美術展に5名が出場されました。惜しくも上位入賞はなりませんでしたが、それぞれの種目でご活躍されました。

出場種目と選手

- 弓道 岡田 節子(マキノ)
- 卓球 横井 貫二(安曇川)
- ラグビーフットボール 堤 恵一(今津)
- 剣道 橋本 章三(今津)
- 美術展 藤庭 康治(新旭)

(長寿福祉課)



市長日記

皆様、明けましておめでとうございます。新しい年を迎えられる喜びが、年を重ねるごとに大きくなります。

元日は高島市の誕生日。満一歳になりました。6町村から引き継いだ夢と荷物をいっばい持ちながら、一つの家族になる使命に取り組んでいます。沢山のお叱りを教訓にして、意気新たに今日から努めさせて頂きます。人間も一歳になると、何度も転びながら自分で立とう、歩こうとする頃です。赤ちゃんは皆を励ましてくれている。

昨年を振り返ると、春には、安曇川高校野球部の大活躍。夏は市民の力で盛大なイベントが目白押しでした。秋には、立派な第1回高島市美術展覧会を実現してくださり、高島市青年協議会が県青年大会で大活躍され、その余勢を駆って「演劇集団つばめ」が全国青年大会で最優秀賞と朗報が続きました。男女共同参画推進の組織が女性の声、市民の力で誕生したことも、「合併の機」に前向きな気持ちがありました。

合併合意であった「サービスは高く、負担は低く」は早くも限界を迎えています。三位一体改革など合併協議時に織り込めなかった変化が押し寄せてきています。自立と自律をテーマに、「市民による自治」を実現していく醍醐味が待っています。

さて、ハリケーンが猛威を振るい、「モツタイナイ」が世界の言葉になる今、「自然の浄化力以上に汚してはいけない。自然の回復力以上に奪ってはいけない」とい

う原則に還るべきと云われます。「子どもに汚染や借金ばかりを残すな」とも聞かえますが、先進国が途方に暮れるこの難しい課題に、高島市は挑むことで光ると考えます。

雪が解け、満席の市民ホールはすごい熱気。馴染みの顔がステージ上にも観客席にも溢れ、和太鼓や演劇や音楽など創造性あふれる高島賛歌が繰り広げられている。野球場では、地元高島チームが欽ちゃん球団を迎え大熱戦を繰り広げている。今年のクールビズで涼感「高島いろは」が大ブレイク。「よさこい」の「いい世さ来い」ブームから、日本産扇子が引っ張りだこ。アドベリーや発芽玄米で健康度もアップ。

高島市内には自然と触れ合うトレッキングの旅人が目立つようになってきた。びわこ環状線で新快速も増え、何と閑空から「はるか」が乗り入れ。リュックをしまった森林ボランティア隊がやってくる。海外で「フノサト・タカシマ」が注目なのだそう。道行く人が増え、商売も治安も向上し、朗仁会は、健康プログラムを運営中。...

夢は、見るだけで終わったら勿体ない。25人の若き球(求)道者が、それを教えにやってくる。「良知を致す」は良地を作る？ 厳しい時代だからこそ、明るく元気に。みんなが仕合せな高島市を創って参りましょう。本年もよろしくお願ひします。

海東英和 拝

親しみやすく、役に立つ広報を目指します！

毎日新聞大阪本社が主催する第18回近畿市町村広報紙コンクールで、広報たかしま10月号が優良賞を受賞しました。

このコンクールは、毎年開催されており、今年は近畿県内から29の自治体が参加し、最優秀1点、優秀5点、優良8点が選ばれ、滋賀県内では高島市の他に、近江八幡市が優良賞を受賞されています。講評では「表紙の写真が時季を



得ていて楽しみ」「俳句や写真の投稿で作るみんなのページが親しみやすく良い」「毎号の歴史散歩は楽しみな人が多いのでは」といった評価をいただきました。今回の受賞を励みに今後もっと市民の皆さんに読みたい、待ち遠しいと思っただけの広報紙を目指しますので、皆さんの声をどんどんお聞かせください。(秘書広報課)



「環の郷」交流・研究センター

「環の郷」交流・研究センターをご存知ですか。この施設は、昨年7月に高島市内で地域の調査研究を行う大学や、民間団体の活動を支援するために、市が開設したものです。現在センターでは、滋賀県立大学や京都精華大学などが、地域の調査、研究活動を展開しており、成果発表などを通して地域の住民の方との交流なども行っています。

このセンターは、高島市内で地域調査や地域資源の掘り起こしなどの活動をする方であればNPO法人や自治組織など、どなたでも使用することが出来ます。使用を希望される場合は、使用する日の10日前までに市役所企画調整課(25)8114までご連絡ください。

高島市は、人々の暮らしの近くに存在する豊かな自然環境との関わり

「環の郷」交流・研究センター 行事のお知らせ

- 「環の郷」交流・研究センター冬の祭り 2月5日(日) 午後1時30分から
- 主催 滋賀県立大学、京都精華大学
- 協力 成安造形大学
- 参加費 500円(資料、茶菓子代)
- 雪の多いこの高島において、暮らしと雪との関係を調査・発表します。また、当日は市内各地から雪のデータを集めて、雪にまつわる環境マップを作成します。皆様こそってご参加ください。

(募集) 皆様からの雪にまつわる思い出やエピソードを募集します。また、市内各地の当日の雪のデータを、デジタルカメラ付き携帯電話で送信していただけるユキタス特派員を募集します。応募はどちらとも1月20日までにごあて先までお願いします。

郵便 〒520-1151-0 高島市新旭町旭一丁目5-4 「環の郷」交流・研究センター行

Eメール wanosato@iris.eonet.ne.jp